

「熊谷市高齢社会対策基本計画案」に対する意見と市の考え方

1 意見募集期間

平成 21 年 2 月 17 日（火曜）から平成 21 年 3 月 2 日（月曜）まで

2 意見の提出者数及び意見件数

提出者数 4 名

意見等件数 8 件

3 意見の内容と市の考え方

・意見の内容を要約し、同じ趣旨の意見はまとめて公開します。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
第1章 第1節 社会参加の促進（2）高齢者の就労支援 第2章 第2節 ボランティアの力を引き出す仕組みづくり	<p>基本目標にあるように、高齢者自身「(地域を) 支える側の人材」として活躍するためには、ボランティアの活性化のみならず、その能力と意欲に応じた多様な就労機会を提供することが大切だと思います。</p> <p>こうした観点から、本市にふさわしい「共助のしくみ」の研究、検討に際しては、「就労」による支え合いにも注目すべきと考えます。</p> <p>市の運営助成を受けて、元気な高齢者が生活支援サービス等を提供している「シルバー人材センター」の活性化等、実績ある既存組織、制度の有効活用も含めて検討されていかがでしょうか</p>	今後検討してまいります。
第3章 第1節 安心・安全の確保（4）交通安全対策の強化	<p>65歳以上が過失の重い第1当事者となる死亡事故や逆走事故等が増えているようです。運転をする高齢者や家族にとっても不幸な事態を防ぐため、高齢者運転対策について、医療機関（認知症早期発見・対応）、警察（運転免許）、交通事業者（自家用車代替）やボランティア（外出支援）等関係者と連携した具体的な体制づくりを進めていくべきではないでしょうか</p>	今後検討してまいります。

P30 コミュニティ ビジネスっ て？	主な活動分野 福祉分野 障害者福祉（障害者介護と障害者の就 業支援）の間に作業療法（園芸、料理 等）を追加	作業療法の有効性は理解いたしま す。しかしながら、この記述は、コ ミュニティビジネスの例示でありま すので、しかるべき箇所にて今後検討 してまいります。
P35	1日3食もしくは毎日1食の配食 サービスがあり、補助を受けられると よい。	1日3食や毎日にする計画は、今の ところ予定がありません。
P39 認知症サポ ーター養成講座	平成20年度市内サポーター数の 確認です。見込400人は、19年度 と20年度の合計でしょうか。 サポーターを全国で100万人養 成するということは熊谷市で23年 までに、1,000人を目標にしてい るのかよくわかりません。	平成20年度末現在でのサポータ ーの登録者数です。 年間200人ずつで3年間で60 0人増をめざします。
P56 防災意識の啓 発	現計画に3年毎n高齢者・障害者/ k㎡のメッシュを掛けた洪水地域ハ ザードマップを図る。	今後の課題とします。
P59	バスルート見直しや送迎ボランテ ィアのしくみづくりなど検討をお願 いしたい。	公共交通会議を設置し、その会議の 中で市内の公共交通について協議を 行っています。 送迎ボランティアについては、研究 します。
P71	特定高齢者事業、一般高齢者事業を 年間を通してやっていただきたい。	今後の課題とします。